

社会資本総合整備計画 中間・事後評価

平成27年 3月

【担当及び関係課】都市整備局段原再開発部計画課・西風新都整備部、道路交通局道路部街路課・道路課

計画の名称	住宅宅地の供給促進のための住宅市街地及び基盤整備		
計画の期間	平成22年度～平成24年度（3年間）		
計画の目標	対象となる住宅市街地及び宅地開発地域において、住宅宅地の整備改善を図るとともに、これに関連する公共施設等の整備を行い、居住性及び利便性を向上させることにより、良好な住宅宅地の供給の促進に資することを目標とする。		
計画の成果目標（定量的指標）	対象地区における住宅宅地の供給の促進を図る。		
定量的指標の定義及び算定式			定量的指標の現況値及び目標値
			備考
			当初現況値 中間目標値 最終目標値
			(H22当初) (H24末)
対象地区における住宅宅地の供給戸数の割合（％） (対象地区における住宅宅地の供給戸数の割合)＝(対象地区における住宅宅地の供給済み戸数)／(対象地区における住宅宅地の計画供給戸数)	38.2%		54.3%

評価事項

1. 要素事業の進捗状況

事業費	H22	1,164 百万円	【完成した事業】 ○基幹事業 ・段原東部地区住宅市街地総合整備事業 当初の計画どおり、事業を実施し良好な住宅宅地の供給を図った。 ○効果促進事業 ・消防分団車庫整備(段原東部地区住宅市街地総合整備事業) 当初の計画どおり、消防団の活動拠点となる施設を整備し、段原東部地区の防災性の向上を図った。 ・団地間を連絡する施設の整備(広島西部丘陵都市(石内地区)住宅市街地基盤整備事業) 当初の計画どおり、団地間を連結する施設の整備を計画した。 【平成24年度から地域自主戦略交付金に移行した事業】 ○基幹事業 ・祇園山本地区開発事業 住宅市街地基盤整備事業 当初の計画どおり、道路整備に必要な用地を取得すると共に、道路改良工事を実施した。 ・広島西部丘陵都市(石内地区)住宅市街地基盤整備事業 当初の計画どおり、道路整備に必要な用地を取得した。 ・比治山東雲線 当初の計画どおり、道路整備に必要な用地を取得した。 ・東雲大州線・駅前大州線 当初の計画どおり、道路整備に必要な用地を取得すると共に、橋りょう架替工事に着手した。 ○効果促進事業 ・団地間を連絡するネットワーク計画の策定(広島西部丘陵都市(石内地区・沼田地区)住宅市街地基盤整備事業) 当初の計画どおり、団地間を連絡するネットワーク計画を策定した。
	H23	1,193 百万円	
	H24	630 百万円	
	合計	2,987 百万円	

2. 事業効果の発現状況、目標値の実現状況

要素事業の効果の発現状況	【完成した事業】 ○基幹事業 ・段原東部地区住宅市街地総合整備事業 老朽建築物の除却・児童遊園の整備・集会所の整備・歩道の美装化を計画し、計画どおり老朽建築物を2戸除却、児童遊園を3か所整備、集会所(約141㎡)1棟を建設、比治山東雲線の歩道をインターロックンブロック舗装・街路灯で美装化した。(別紙1参照) ○効果促進事業 ・消防分団車庫整備(段原東部地区住宅市街地総合整備事業) 消防分団車庫の建設を計画し、計画どおり鉄骨造2階建て(約95㎡)の消防分団車庫を建設した。 ・広島西部丘陵都市(石内地区)住宅市街地基盤整備事業 団地間を連絡する施設の整備を計画し、計画どおり新たに開発する団地の整備を促進した。 【平成24年度から地域自主戦略交付金に移行した事業】 ○基幹事業 ・祇園山本地区開発事業住宅市街地基盤整備事業 事業区間のうち0.7kmの供用を計画し、計画どおり0.7kmを供用した。 ・広島西部丘陵都市(石内地区)住宅市街地基盤整備事業 事業区間のうち12件の用地取得を計画し、計画どおり12件の用地を取得した。 ・比治山東雲線 事業区間のうち2件の用地取得を計画し、計画どおり2件の用地を取得した。 ・東雲大州線・駅前大州線 事業区間のうち2件の用地取得を計画し、計画どおり2件の用地を取得した。 また、事業区間のうち約0.1kmの橋りょう架替工事への着手を計画し、計画どおり橋りょう架替工事に着手した。 ○効果促進事業 ・広島西部丘陵都市(石内地区・沼田地区)住宅市街地基盤整備事業 団地間を連絡する交通ネットワークの調査検討を実施し、西風新都都市づくりの全体計画を改定した。		
目標値の実現状況	指標：(対象地区における住宅宅地の供給済み戸数)／(対象地区における住宅宅地の計画供給戸数)	最終目標値(H24末)	目標値と実績値に差が出た要因
		54.30%	成果目標の達成状況：目標達成
		最終実績値(H24末)	
		55.87%	
要素事業に併せて実施した他事業の効果の発現状況、及び本計画以外に設定した目標値の実現状況	段原東部地区都市再生整備計画で設定している目標値の達成状況 ○老朽住宅率(住宅棟数に対する老朽住宅棟数) H21年度末当初現況値 5.0%、H24年度末目標値 0.0% (事業完了に伴い目標達成) ○狭路道路の改善率(地区面積に対する幅員6m以上の道路面積) H21年度末当初現況値 13.3%、H24年度末目標値 31.5% (事業完了に伴い目標達成) ○公園等の整備率(地区面積に対する公園・緑地の面積) H21年度末当初現況値 0.0%、H24年度末目標値 3.0% (事業完了に伴い目標達成) ○公共下水道の整備率(地区面積に対する下水道の供用開始面積) H21年度末当初現況値 31.8%、H24年度末目標値 100.0% (事業完了に伴い目標達成) ○段原東部地区のまちづくりの申し合わせ(紳士協定)の遵守件数(申し合わせを指導し遵守された件数) H21年度末当初現況値 76件、H24年度末目標値 300件 (実績値293件、目標概ね達成)		

3. 今後の方針

広島市の住宅市街地において整備を進めてきた「段原東部地区」は、H24年度末の実績で目標を達成したことから、今後は「段原東部地区」の完成までの記録を整理し、民間の宅地開発が進んでいる「広島西部丘陵都市」と共に広島市における良好な住宅宅地の供給の促進を進めることとする。

4. その他特記事項

祇園山本地区開発事業住宅市街地基盤整備事業は平成23年度に、比治山東雲線は平成24年度に広島市公共事業評価監視委員会で審議され、市の対応方針案（事業継続）が妥当と認められた。(別紙2参照)